

広報

きたはりま119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり



2015 SPRING
北はりま消防組合



平成26年中 火災・救急・救助の概要

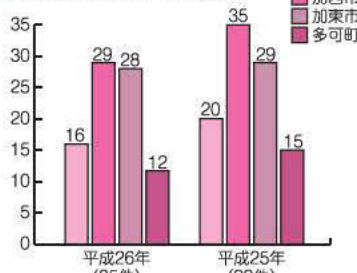
火災発生状況

- 火災発生件数85件（14件減少しました。）
（西脇市16件、加西市29件、加東市28件、多可町12件）
- 死者8名・負傷者7名

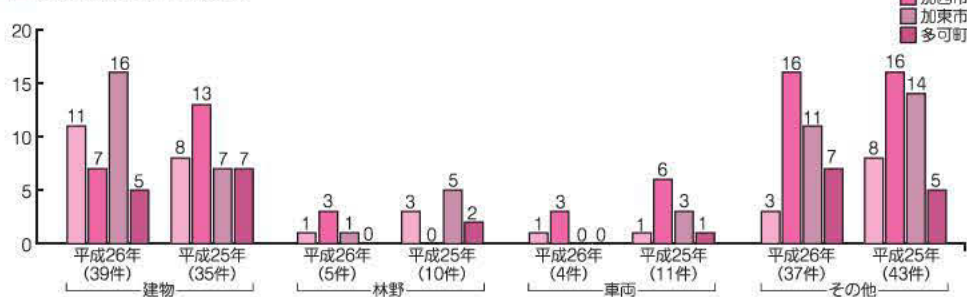


市町別の前年比較は、西脇4件、加西市6件、加東市1件、多可町3件減少しました。
火災種別は、建物火災39件、林野火災5件、車両火災4件、その他火災37件発生し、前年比較は、建物火災4件増加、林野火災5件減少、車両火災7件減少、その他火災6件減少しました。

市町別火災発生状況



火災種別発生状況



救急発生状況

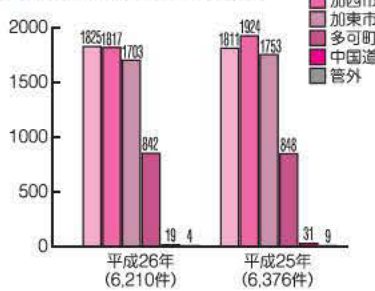
- 救急出動件数6,210件（166件減少しました。）
（西脇市1,825件、加西市1,817件、加東市1,703件、多可町842件、中国道19件、管外4件）



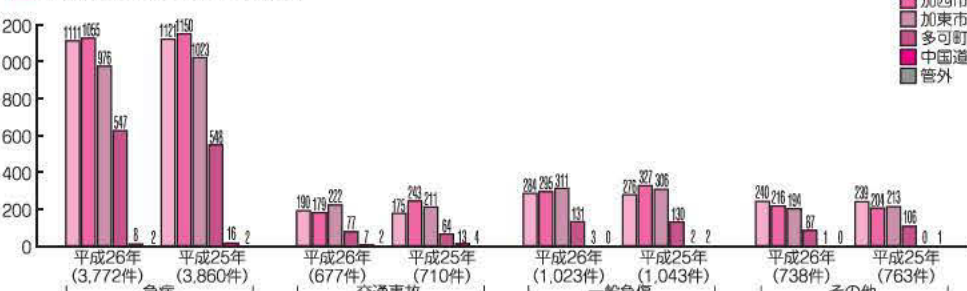
市町別の前年比較は、西脇市14件増加、加西市107件減少、加東市50件減少、多可町6件減少、中国道12件減少、管外5件減少しました。

事故種別で圧倒的に多いのは急病（3,772件）で、続いて一般負傷（1,023件）、交通事故（677件）の順となっています。

市町別救急出動状況



事故種別救急出動状況



救助発生状況

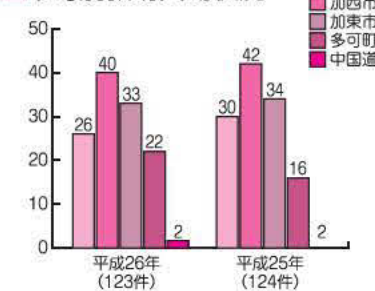
- 救助出動件数123件（1件減少しました。）
（西脇市26件、加西市40件、加東市33件、多可町22件、中国道2件）



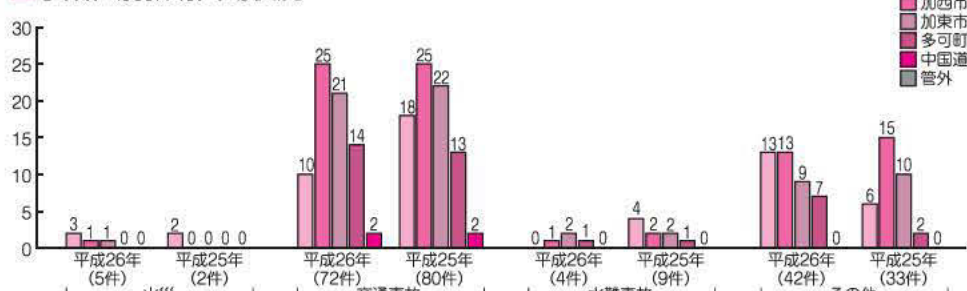
市町別の前年比較は、西脇市4件減少、加西市2件減少、加東市1件減少、多可町6件増加、中国道増減なしでした。

事故種別は、交通事故72件、火災5件、水難4件、その他42件で、前年比較は、交通事故8件減少、火災3件増加、水難5件減少、その他9件増加しました。

市町別救助出動状況

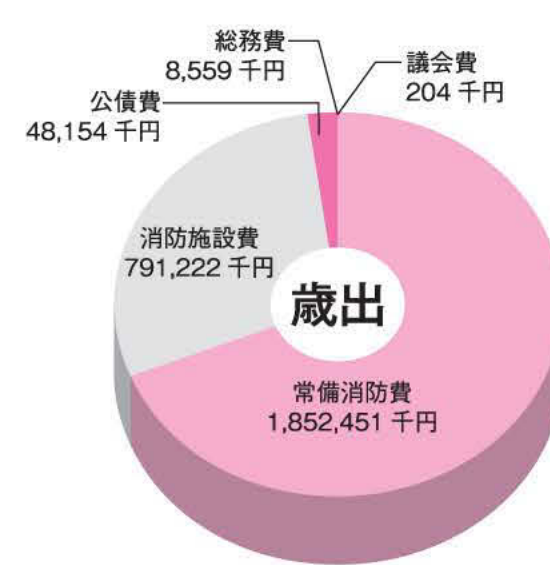


事故種別救助出動状況

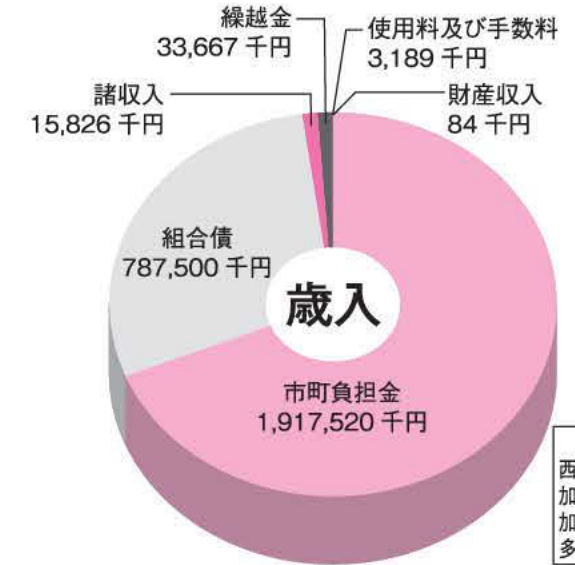


平成25年度 決算概要

北はりま消防組合一般会計の決算状況は、歳入総額が2,757,786千円、歳出総額が2,700,590千円で、歳入歳出差引額は、57,196千円となっています。



歳出決算額
2,700,590千円



歳入決算額
2,757,786千円

市町負担金内訳

西脇市	438,747千円
加西市	596,710千円
加東市	578,535千円
多可町	303,528千円

歳出

款	内容	金額
議会費	組合議会の運営活動費用	204千円
総務費	組合全体の事務管理費用	8,559千円
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む)	1,852,451千円
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	791,222千円
公債費	借入金の返済費用	48,154千円

歳入

款	内容	金額
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	1,917,520千円
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	3,189千円
財産収入	基金の運用利子	84千円
繰越金	前年度の繰越金	33,667千円
諸収入	その他の収入	15,826千円
組合債	消防施設整備のための借入金	787,500千円

平成25年度の主な事業

- 消防救急デジタル無線整備・・・389,900千円
- 高機能消防指令センター整備・・・382,400千円
- 庁舎改修工事・・・16,978千円



高機能消防指令センター

お知らせ

一般(指名)競争入札資格審査申請事項変更届について

一般(指名)競争入札参加資格審査申請の登録内容に変更が生じた場合は、速やかに変更届及び添付書類を提出して下さい。また、建設工事登録業者で経営事項審査結果が更新された場合は、更新後の経営事項審査結果通知書の写しを提出して下さい。届出要領等については、ホームページに掲載していますのでご確認ください。

お問い合わせ 消防部企画財政課 ☎0795(48)3250



ひとり暮らし高齢者宅防火訪問
秋の火災予防運動の一環として、一人暮らしの高齢者住宅を訪問して、防火診断や防火指導を行いました。



訓練指導・防火講話

各集落や市内の事業所での初期消火及び避難訓練の指導や防火講話など、「災害に強いまちづくり」を目標に実施しています。



毎日の車両・資器材点検
消防署では、毎朝、車両と資器材を点検して、いつでも万全な状態で出動できるよう待機しています。



水難救助訓練
水難事故を想定して、鬮籠灘で水難救助訓練を実施しました。



自衛消防競技大会

秋の火災予防運動に伴う行事の一環として、防火（安全）協会加入事業所等による自衛消防競技大会を各署で開催しました。

2014 北ばいまま消防本部



夏休み防災体験教室
西脇市と多可郡の少年消防クラブ員20名が参加し、「人と防災未来センター」と「兵庫県ドクターヘリ」を見学して防災体験をしました。



はたらく車大集合!!
東条湖おもちゃ王国で行われた「はたらく車大集合!!」に参加して、はしご車の説明や放水訓練、写真撮影会を実施しました。



住宅用火災警報器等の配布事業
敬老の日を前に住宅火災による高齢者の逃げ遅れを減らそうと消防庁が実施する「住宅防火・防災キャンペーン」にあわせ、黒田庄地区に住宅用火災警報器と住宅用消火器を配布しました。



新任職員特別強化訓練

兵庫県消防学校で、半年の初任教育を終えた新任職員が現場の最前線で活動できるように強化訓練を実施しました。



多数傷病者対応訓練
夜間、交通事故で30名の負傷者が発生したとの想定で、西脇病院DMATが現場で緊急治療を行い、重症度の高い順に西脇病院へ救急搬送を行う訓練を実施しました。



小児救急講習会
加西市善防公民館で1歳児から3歳児のお母さんたちを対象に「小児救急講習会」を開催しました。講習会では救急車が到着するまでに行う応急手当の大切さや心肺蘇生法の技術を学ばれました。



特別査察

昨年の福知山花火大会での爆発事故を踏まえ、露店等における消火器の設置状況の確認や、火気の取り扱いの注意を呼び掛けました。



西脇病院フェスタ
開かれた病院づくりを目指して開催された西脇病院フェスタに、救急車展示やミニ救急車「きゅうちゃん」の体験乗車コーナー等を開きました。

救急現場において救急救命士による ビデオ喉頭鏡の使用が開始されています



ビデオ喉頭鏡とは？

CCDカメラとモニター画面を一体化した器具で、気管挿管を行うときに使用します。気管チューブが声門を通過するところをモニター画面で確認しながら、安全かつ確実に気管挿管を行うことができる器具です。
病院の手術室等で、麻酔科医により全身麻酔の患者様に対して、ビデオ喉頭鏡を使用し気管挿管を行います。



救急救命士が救急現場で使用するメリット



1分1秒を争う傷病者（心臓と呼吸が両方止まっている状況）に対し、気管挿管（のどにチューブを通す処置）を安全かつ確実に行う必要があります。ビデオ喉頭鏡を使用することで、気管挿管を行う際の安全性と確実性の向上が期待できます。

ビデオ喉頭鏡を使用できる救急救命士

「ビデオ喉頭鏡気管挿管認定救急救命士」になるためには、指定された病院の手術室で、麻酔専門医の指導の下、救急救命士が全身麻酔手術患者様に気管挿管を実施する病院実習があります。この病院実習を修了し認定を受けた者が「ビデオ喉頭鏡気管挿管認定救急救命士」となります。

北はりま消防では、平成27年1月1日現在で計20名を養成しており、救急現場で活躍しています。「ビデオ喉頭鏡気管挿管認定救急救命士」の養成及び活動に、ご理解とご協力をお願いします。

兵庫県ドクターヘリと 救急隊との連携を行っています。



運航開始から1年が経過

兵庫県ドクターヘリは、基地病院である兵庫県立加古川医療センターに待機しており、現場出動要請から7～8分程度で、北はりま消防管内の上空に飛来します。
119番通報により救急車を要請された事案の中で、緊急を要する傷病者に対し早期の医療介入を行い、傷病者の予後改善を目的として兵庫県ドクターヘリを救急現場へ出動要請し、救急隊との連携を図っています。



兵庫県ドクターヘリ出動要請件数

運行開始から1年間で、兵庫県ドクターヘリ運航範囲内の消防本部等からの出動要請件数は481件あり、そのうち北はりま消防からの現場出動要請件数は73件（15.2%）で、県下消防本部別では最多出動要請件数となっており、今後より一層増加することが予測されます。

ドクターヘリとの積極的な連携実施

北はりま消防としては、早期医療介入が必要と判断されれば、積極的にドクターヘリの現場出動要請を行い、傷病者の予後改善を最大の目的として、フライトドクター、フライトナース及び救急隊との連携を図って行きます。
地域の皆様には、ドクターヘリ飛来による騒音等大変ご迷惑をお掛けしますが、傷病者の予後改善のためご理解とご協力をお願いします。

設置済ですか！ 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、火災の早期発見に大きな力を発揮します。また設置をお済みでない方は、「あなたの家族の尊い命や貴重な財産を守る」ため、早急に設置しましょう。

住宅用火災警報器のお手入れ

乾電池タイプの火災警報器は、電池の交換が必要です。定期的な作動点検のときに「電池切れかな？」と思ったら、早めに機器を交換するか電池の交換をおすすめします。また、電池が切れそうになったら、音やランプで交換時期を知らせてくれます。詳しくは購入時の取り扱い説明書を確認してください。

3月1日（日）から7日（土）までの7日間にわたり、平成27年春季火災予防運動が実施されます。期間中は、住宅火災による死者の発生防止対策の要点をまとめた、住宅防火の7つのポイントのポイントを「3つの習慣・4つの対策」について積極的に広報を行い、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、日常生活での防火を実践することにより、火災による死傷者や財産の損失を防げるよう取り組みます。

住宅防火の7つのポイント

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。
- 家具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために防火用品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る。

実施期間 平成27年3月1日（日）から3月7日（土）
全国統一標語「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

地震

地震時の行動

何が起こったのか瞬間に判断できません。数秒の揺れでも、とても長く感じます。まず、自分の身を守る。家具や天井の下敷きにならないよう、丈夫なもので身を保護しましょう。

地震直後の行動

- 落ち着いて火の元確認 初期消火**
火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末を！
- 窓や戸を開け 出口を確保**
揺れがおさまったら、避難ができるように入出口を確保する。
- 門や扉には近寄らない**
屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

地震後の行動

- 正しい行動 確かな行動**
ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。
- 確かめ合おう 我が家の安全 隣の安否**
わが家の安全を確認後、隣の安否を確認する。
- 協力し合って 救出・救護**
倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し救出・救護

新人職員各署に配属

加西消防署
吉次 大



消防学校での半年間の初任教育で消防職員としての知識、技術及び規律を学び、そして仲間の大切さを実感しました。これから1日でも早く、地域住民の方々の期待に応えられる一人前の消防士になるよう日々努力していきます。

加東消防署
徳岡 敬士



消防学校では消防士として大切な基礎を学びました。技術面のみならず体力的にも精神的にも大きく成長できました。この半年間、厳しい訓練の中で仲間と共に得た能力を活かし、日々の消防業務に全力で務めていきます。

平成26年4月に採用した新人職員11名が消防学校での半年間の研修を終え、成長した姿で帰ってきました。10月から北はりまの各消防署へ配属していますので、紹介します。

消防学校で学んだこと、これからの意気込みをインタビューしてみました。



多可消防署
藤原 源太郎



全てにおいて全力で取り組み、消防の基礎はもちろん、仲間の大切さを学んだ半年間でした。今後は地域の方々とのかかわりを大切に、信頼してもらえる消防士になれるよう、日々精進していきます。

多可消防署
常峰 大雅



半年間の初任教育において、消防士としての基礎を学び、知識や技術の習得のほか、仲間と支え合うことの大切さ、命の尊さを実感することができました。今後も初心を忘れることなく日々精進し、地域の方々から信頼してもらえるよう頑張ります。

加西消防署
山田 慎士



消防の知識、技術の基礎を学び、厳しい訓練を乗り越え成長できた半年間でした。消防学校で学んだ基礎基本を忘れず、地域住民の皆様から信頼される消防士になるよう日々努力します。

西脇消防署
西山 凌矢



半年間の消防学校では、消防に関する基礎知識や技術を学び、共に過酷な訓練を乗り越えてきたことで、一生の仲間に出会うことができました。配属先では先輩に少しでも近づけるよう日々努力し、皆様から信頼される消防職員になります。

西脇消防署
日原 充稀



初任教育では、消防の基礎・知識を培うことができました。今後、少しでも地域の皆様の支えとなり、また信頼を得ることができるよう多くのことを吸収していきます。初心の気持ちを大切に、日々精進していきます。

西脇消防署
日高 直輝



半年間の研修を通じて消防の基礎、命の尊さを学びました。厳しい訓練を共に乗り越えてきた同期の仲間を大切に、初心を忘れることなく、地域の皆様の期待に応えられるよう努力します。

加東消防署
村上 弘和



消防学校では、消防職員としての基礎知識を学び、また日々の訓練で体力、精神力を養ってきました。これからも初心を忘れず、地域住民の方々の生命、身体、財産を守る消防職員を目指し、日々努力していきます。

加西消防署
名生 真希



消防学校ではたくさんの技術や知識を学び、かけがえない仲間や教官方に出会いました。その知識を活かし、これからも更に成長できるよう努力します。現在は危険物係に配属され日々勉強の毎日です。少しでも早く役に立てるよう頑張ります。

加東消防署
西村 康平



半年間の初任教育では、仲間と共に日々の厳しい訓練に耐え、消防職員に必要な体力、技術、知識を身に付け、チームワークの大切さを学びました。その経験を活かし、立派な消防職員になれるよう日々精進していきます。

一刻も早く現場に駆け付けるために!!

【119番の心掛け】

- 1 落ち着いて、ゆっくり、はっきりと。
- 2 指令員の質問に答える。
 - (1) 自宅から119番をするときは、携帯電話ではなく、自宅の電話を使用する。
 - (2) 市町名をはっきりと。
- 3 必要に応じて、救命処置等の口頭指導を行いますので指示に従う。



西脇市坂本? 加西市坂元町? 加西市坂本町?

北はりま消防組合では、高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の正式運用を開始し、半年が経過しました。現在では、地理不案内を解消させ、指令装置のより正確な操作慣熟等に努め、職員一人ひとりが自助努力を重ね、職員同士が協力しながら対応する体制を図るなど、職員が一丸となって地域住民の安全安心に取り組んでいます。

高機能消防指令センターの現況